

板野町立板野東小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 351名
- ② 校訓「仲よく助け合おう」
 - ・笑顔いっぱい心の通い合う学校
 - ・力いっぱい日々前進する学校
 - ・花と緑いっぱいの美しい学校
 - ・運動いっぱい健康で安全な学校
 - ・表現いっぱい個性が生きる学校
- ③ 環境目標・テーマ

「ふるさと板野の豊かな自然を守り，進んで環境について学ぼう。」



2 行動方針

- ① 環境についての学習に取り組もう。地元の豊かな自然について調べよう。
- ② ゴミの分別・減量に取り組もう。リサイクル活動を推進しよう。
- ③ お遍路さんたちが気持ちよく通れる校区にしていこう。
- ④ 節水・節電に努めよう。

3 行動

- ① 環境についての学習に取り組もう。地元の豊かな自然について調べよう。



3年生 レンコン植え付け



4年生 町環境センター見学



分校 大坂トンネル工事見学

他にも、低学年では木の葉や実を採集した作品作りや高学年では理科と関連した活動が見られた。

- ② ゴミの分別・減量に取り組もう。リサイクル活動を推進しよう。



リサイクルの日



ペットボトルをリサイクル



給食の牛乳パックも

毎月1回のリサイクルの日には、地域からも沢山の古紙や空き缶，ペットボトルなどが寄せられた。給食の牛乳パックもきれいに洗ってリサイクルしている。

② お遍路さんたちが気持ちよく通れる校区にしていこう。



6年生 花植え



3年生 三番札所でお接待

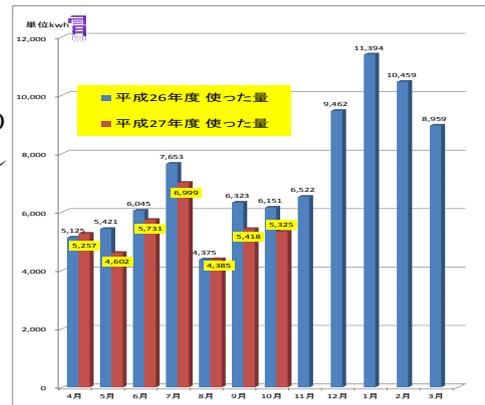


校門前(遍路道)清掃

学校の東隣に三番札所金泉寺があり、学校の前をお遍路さんが通る。県外や外国の方も少なくない。お遍路さんに気持ちよく通ってもらえるようにしている。

④ 節水・節電に努めよう

この指定を機に、電気の節約と水の節約を呼びかけようと講堂横に「新 学校版環境ISOコーナー」を設置して、グラフを掲示するなどして啓発に努めている。



4 具体的効果

◆ 地域の環境保全の取組の再認識

町や地域のゴミ処理やゴミを減らす工夫など、多くの取組を再認識できた。

◆ 自然の豊かさを知ることができた

昨年度は野生サルの被害で全国的に報道された本校区だが、校内にはヤマモモ・銀杏、梅、クルミ、柿など実のなる木も多く、すぐ隣には山もあり、四季を感じさせてくれることに気付くことができた。

◆ リサイクルの啓発になっている

月1回のリサイクルゴミの収集日を知らせる案内を地元新聞販売店の協力で新聞に折り込み配布していただいている。その結果、リサイクルの古紙やペットボトル等がかなり集められるようになった。また、子どもたちも給食後にミルクの紙パックを開いて洗うことが習慣化しており、ゴミ減量の意識づけになっている。



新聞折り込みで地域へ配布



環境ISOコーナー

◆ 節電

水道の使用量は、昨年度漏水などがなあって比較はできないが、電気は昨年度比でかなりの使用量減となっており、節電ができている。

5 改善点

◆ 地域へのさらなる協力依頼

リサイクルをはじめ、作物や自然環境などについて地域の人材の掘り起こしや協力の呼びかけをしていきたい。

◆ お遍路さんへの意識づけ

あまりに日常的身近で何も感じない子が多い。校門前でお遍路さんに道を聞かれることも多いので、「お接待」の心で接することができるよう、意識づけをしていきたい。